

## FLORA of KOCHI

No.46

The Kochi Prefectural Makino Botanical Garden

## 探してみよう！ 秋編

## ユキノシタ属 (ユキノシタ科)

Saxifraga L.

ユキノシタ属(ユキノシタ科)は日本に11種類ほど、高知県では4種1変種1品種が確認されており、このうちセンダイソウとジンジソウは日本の固有種です。高知県に生育する全種類が、やや湿った岩上に生えるのが特徴で、ユキノシタのみ6月に開花し、その他は初夏から秋にかけて開花します。

高知県レッドリスト2020では、センダイソウが準絶滅危惧種(NT)に指定されています。モミジバセンダイ

ソウはセンダイソウの品種のため、高知県レッドリストではセンダイソウに含めて評価されています。

また、変種関係にあるダイモンジソウとウチワダイモンジソウについては、ウチワダイモンジソウが北川村から四万十市までの広範囲で見られる一方、ダイモンジソウは、主に石鎚山系と剣山山系の標高の高い範囲に見られます。花が目立つこれからの季節、地域や標高でどんな種類がみられるか確かめてみませんか。



ジンジソウ



センダイソウ



モミジバセンダイソウ



ユキノシタ



ダイモンジソウ



ウチワダイモンジソウ

## 表 ユキノシタ属の検索

上側の花弁に斑点がある	葉は腎円形～円形で縁が7-11中裂(まれに浅裂または深裂)		花:9-10月	<i>Saxifraga cortusifolia</i> Siebold et Zucc. ジンジソウ	
	葉は腎円形で基部は心形 紫色で糸状の走出枝を多数出す		花:6月	<i>S. stolonifera</i> Curtis ユキノシタ	
上側の花弁に斑点がない	地上茎がある	葉は卵形～卵円形	切れ込みが浅い	花:9-10月	<i>S. sendaica</i> Maxim. センダイソウ
			切れ込みが深い	花:9-10月	<i>S. sendaica</i> Maxim. f. <i>laciniata</i> (Nakai ex H.Hara) Ohwi ex Yonek. モミジバセンダイソウ
地上茎がない	地上茎がない	葉は腎円形 基部は心形またはくさび形 5-17浅裂する		花:7-10月	<i>S. fortunei</i> Hook.f. var. <i>alpina</i> (Matsum. et Nakai) Nakai ダイモンジソウ
		葉は倒卵形 基部はくさび形まれに切形 3-7中～浅裂し、裂片は卵形		花:7-10月	<i>S. fortunei</i> Hook.f. var. <i>obtusocuneata</i> (Makino) Nakai ウチワダイモンジソウ

## 【参考文献】

高知県. 2020. 高知県レッドリスト(植物編) 2020年改訂版. 高知県.  
奥山雄大. 2016. ユキノシタ属. In: 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩(編). 改訂新版日本の野生植物2: 210-214. 平凡社. 東京.  
小林史郎・小川誠. 2009. ユキノシタ科. In: 高知県・高知県牧野記念財団(編). 高知県植物誌 pp. 244-245. 高知県・高知県牧野記念財団. 高知県.



# 高知県の植物 ニュース

## ■ ホザキノミミカキグサ、三原村で130年ぶりの確認

文：田城光子 写真（写真2・3）：井上麻子

1889（明治22）年8月、牧野富太郎他7名が植物採集旅行で三原村に滞在した際、柚ノ木でホザキノミミカキグサ *Utricularia caerulea* L.（タヌキモ科）を採集したという記録があり（岩本1889、山本・田中2004）、長い間私たちも調査を続けていましたが、なかなか確認できずにいました。しかし、2019（平成30）年10月6日ヒメノボタンの観察に訪れた水田の斜面で、これまでに見たことのない小さな植物が花を咲かせていることに気がつきました。

湿り気のある地面に線形あるいはへら型とも見える小さな葉が張り付くように広がり、間から花茎が出て、先のほうにまばらにピンクの花が咲いています。すでに果実もできていて、耳かき状にはならず丸い。このことからホザキノミミカキグサであると判断しました。ここは柚ノ木とは違う場所ですが同じ三原村内であり、実に130年ぶりの再発見でした。



写真1-1 ホザキノミミカキグサ [2020(令和2)年8月28日]

生育地は水田の斜面で常に湿り気があり、ミミカキグサやモウセンゴケ、アリノトウグサなども一面に生えています。他にもイヌノハナヒゲ、トラノハナヒゲ、ミズトンボなどやや大型の草本、少し乾燥した斜面にはキンバイザサやシン



写真1-2 草刈りの様子 [2021(令和3)年3月11日]

ジュガヤ、田の畦には三原村での自生地はここだけになってしまったヒメノボタン、溝にはヤマトミクリ、ハリコウガイゼキショウなどが生育し、休耕2年目となった田の中にもさまざまな絶滅危惧種となった水田雑草が生育しています。ホザキノミミカキグサは発見当初は数個体でしたが、その後生育範囲を少しずつ広げて個体数も増加傾向にあります。

多様性の高い貴重な環境ですが、3年前の大雨で斜面の一部が崩落し溝をふさいでしまい、そのため水の管理が難しくなりました。地権者の高齢化という問題もあって、耕作放棄地になる可能性がでてきました。このままでは遷移が進行し、多くの植物がその影響を受けることになります。

そのため、村内の様々な人たちの力を借りることにしました。若い農家を中心に、小中学校の児童生徒たちと米



写真1-3 水田での解説の様子 [2021(令和3)年3月11日]

つくりをすることで、環境教育の場とし保護に取り組んでもらうことです。地権者をはじめ関係者との話し合いを行い、全員の理解が得られました。今年の3月と8月には、観察をしながら草刈りを行い(写真1-2、1-3)現時点では安定した環境が保たれています。

## ■ 県内調査報告

文・写真：橋本季正

### ウエマツソウとホンゴウソウ

*Sciaphila secundiflora* Thwaites ex Benth. & *Sciaphila nana* Blume

8月1日に、いの町神谷小野にある高知県天然記念物ウエマツソウ・ホンゴウソウ自生地現状を確認してきました。この場所は、1960(昭和35)年に元伊野中学校長の尾崎窟によりホンゴウソウが発見され、その後ウエマツソウも生育していることがわかり、両種が同一場所に生育しているのは珍しいことから、1962(昭和37)年1月26日に県の天然記念物に指定されました。道路沿いには天然記念物の石碑が立っており(写真2-1)、2種はそこから数メートル離れた斜面に生育しています。

日本では、ウエマツソウは新潟県・和歌山県以西、ホンゴウソウは宮城県以南にまれに生育しており、どちらも環境省レッドリスト2020では絶滅危惧Ⅱ類(VU)、高知県レッドリスト2020では絶滅危惧ⅠB類(EN)になっています。

この2種は、林床の落葉が厚く堆積したところに生える菌従属栄養植物です(以前は腐生植物といわれていました)。花期は7~9月の暑い時期で、茎の上側に雄花、下側に雌花が付き、雄花の花



写真 2-1 天然記念物の石標



写真 2-3 ウエマツソウ

被の形で両種の区別ができます。茎の高さは6~10センチで、全体に赤紫色をしており、うす暗い林床の落ち葉の間では見つけにくいので、おそらく確認されていない自生地は多くあると考えられます。

私が今までに見たホンゴウソウは、県内では土佐清水市の海岸林で、そこではスダジイの根元に数本見られるのみでした。他では、千葉県のシイ林で林床の腐葉土に数株が点々と、また竹林ではモウソウチクの根元に数本立ちで十株程度生えていました。さらに、沖縄県石垣島のヤブレガサウラボシが生える山中の林縁で、10センチ程度のとても立派な株立ちが点々とあるのを見て、暖かいところが好きな南方系の植物なのだと思います。

いの町の生育地では、ホンゴウソウ(写真2-2)よりもウエマツソウ(写真2-3)の方が多く見られました。ここの特性なのか年による傾向なのか経時的に調べる必要があります。ここは沢沿いにスダジイが生育する滝の近くであり、空中湿度は高く年間を通して腐葉土が厚く堆積した土壌が乾燥することはないと考えられ、生育環境は安定していると思われます。ただ、道路から不法投棄されたゴミ類が散乱しており、生育環境の悪化が心配されました。

#### 【参考文献】

邑田仁, 2003. ホンゴウソウ. In 矢原徹一(監)・永田芳男(写真), レッドデータプランツ, p. 536. 山と溪谷社, 東京.  
大橋広好・邑田仁, 2016. ホンゴウソウ属. In: 大橋広好・門田裕一・邑田仁・米倉浩司・木原浩(編), 改訂新版日本の野生植物1: 151-152. 平凡社, 東京.



写真 2-2 ホンゴウソウ

## ■ 令和3年度秋以降 分類学セミナー・研修会のお知らせ

10月以降の分類学セミナーと研修会は下のとおり開催します。調査ではいろいろな役割がありますので、くり返し参加して、自分に何が向いているか探ってみてはいかがでしょうか。標本同定研修会では作った標本をお持ちいただき、植物を見分ける一連の方法を学べます。日によって開催場所が異なりますので、ご注意ください。

### 【申込先】

メール：事務局 (floraofkochi@makino.or.jp)

電話番号：088-882-2723(事務局直通)

088-882-2673(標本庫直通)

※土日祝日除く 9:00-17:00

FAX 番号：088-882-8635(代表)

10月3日(日) 分類学セミナー シダ植物(初級～中級) \*9月21日時点キャンセル待ち  
10:00～12:00 講師：堀 清鷹(牧野植物園研究員)  
場所：牧野富太郎記念館本館 映像ホール

初心者のための調査研修会 \*参加ご希望の方は必ず事前にお申し込みください。当日の参加はご遠慮ください。

10月16日(土) 10:00～12:00 シダ植物 場所：高知市一宮 定員：10名

11月11日(木) 10:00～12:00 水田の植物 場所：土佐市谷地 定員：10名

### 標本同定研修会

12月11日(土)・12月18日(土)

定員：①②それぞれ2名ずつ

①10:00～12:00 ②13:30～15:30

場所：牧野富太郎記念館本館 標本庫

\*標本をお持ちの方のみ受講できます(新聞での仮押し状態可)。

\*お申し込み時に大まかな点数、分類群をお知らせください。

- \*調査研修会については、集合場所などの詳細をご案内しますので、申し込み時に連絡先をお知らせください。
- \*ボランティア登録者本人は窓口でボランティア登録証をご提示いただくと無料で入園できます。

### <注意事項>

- セミナーや研修会中に写真を撮影します。撮影した画像は牧野植物園の年報及び広報媒体等に掲載させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- 新型コロナウイルス感染拡大状況により、延期または中止とする場合がございます。

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のため、以下の点にご協力をお願いします。
  - ・発熱のある方、せきやのどの痛みなどの症状のある方は、ご参加をお控えください。
  - ・マスクを着用ください。
  - ・こまめな手洗い、手指の消毒をお願いします(園内では設置の消毒液をご利用いただけます)。
  - ・他の参加者との距離(2m)を確保してください。
  - ・野外であっても話ながらの飲食はお控えください。
- 参加者の個人情報については、新型コロナウイルス感染拡大の恐れがある場合には、保健所、医療機関、高知県等の公的機関に提供することがあります。

注) 9月25日(土)に予定されていた香美市土佐山田町甫喜ヶ峰自然公園での調査研修会は、高知県新型コロナウイルス感染症対応のステージが「非常事態(紫)」の期間中のため中止します。

### ■ 調査の連絡に関するお願い

調査にあたって、メールでご連絡を差し上げている皆様のなかにメールが戻ってきてしまう方がいらっしゃいます。主にドコモの携帯メールをお使いの方に多いようです。お手数ですが、「@makino.or.jp」をドメイン登録していただきますようお願いいたします。

### ■ 植物の採取の際の注意

最近、本県では植物の盗掘が非常に増えています。絶滅危惧種の生育地点の情報を広めないようお願いいたします。また、標本作製のために植物を採取する際には、盗掘と間違われまいようご注意ください。国有林への入林については、伐採や狩猟、林道整備などを行っている可能性があるため四国森林管理局へ事前に連絡する必要がありますので、お早めに事務局へご連絡ください。

### ■ 植物に関する問い合わせ

毎週火曜日(休日の場合はその翌日)に植物研究課の田邊、前田、橋本(季)が高知県の植物のお問い合わせに対応しています。写真では同定が難しい種類がありますので、押し葉状態(仮押しでも結構です)にするか、新鮮なうちにお持ちください。

植物に関する全般の問い合わせは、月・水・金の16時から17時に受付けています(Tel:088-882-2723)。

### ■ 編集後記

本号では、ホザキノミミカキグサについて、田城光子様に執筆いただき、写真の一部を井上麻子様にご提供いただきました。また、文献の確認において小松みち様にご協力いただきました。ありがとうございました。

No.46の発行担当：前田綾子・橋本季正・鴻上泰・田邊由紀・藤川和美